

主題	長崎労働局長がトンネル工事現場の安全パトロールを実施		
開催日時	平成24年7月4日 午前10時～	現場名	九州新幹線(西九州ルート)、彼杵トンネル外2箇所他工事
場所	東彼杵郡東彼杵町	主催	長崎労働局(健康安全課)

目的

労働災害防止を呼びかける全国安全週間(7月1日～7日)が始まったことにあわせて、東彼杵町にある九州新幹線トンネル工事現場を長崎労働局長(局長:中原正裕)が安全パトロールを実施しました。

本パトロールは、厚生労働省長崎労働局が各事業者に対して、労働災害防止の重要性について認識をさらに深め、安全活動の着実な実行を呼びかけるため実施したものです。

<概要>

冒頭に長崎労働局長より現場労働者約60名に対して、建設業における労働災害が増加し、死亡災害について同様な災害が繰り返し発生していること、また、5月に発生した新潟におけるトンネル爆発事故により4名の作業員が一度に死亡するという大変悲惨な事故が起きている背景から元方事業者による安全衛生管理の徹底、協力請負事業者における安全衛生管理体制の確立と確実なリスクアセスメントを実施することにより労働災害の根絶を呼びかけるとともに、本年度の全国安全週間のスローガン「ルールを守る安全職場 みんなで目指すゼロ災害」から基本的なルールを守り、「安全第一」の原点に立ち返ることについて訓示がありました。



安全パトロールは労働局及び所轄労働基準監督署の職員6名で行い、掘削作業などが行われている建設中のトンネル内を工事担当者から作業の進め方や安全対策について説明を受けながら、崩落の危険性、粉じん対策、緊急時対応等について巡視しました。



局長からは「現場内での安全対策は概ね良好であったが、トンネル現場はリスクの高い現場であるため、日頃からリスクを検証し、安全に関する対策を推進するとともに作業手順などルールの順守を徹底してもらいたい」との講評がありました。

労働局・労働基準監督署では、無事故で工事が終わるように今後も継続的に指導を行っていくこととしています。